

令和6年11月

各 位

一般社団法人 農業開発研修センター  
会 長 理 事 増 田 佳 昭  
[公 印 省 略]

## 令和6年度（通算第43回）JA金融問題研究会の開催について

拝 啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、標記の研究会を別紙要領のとおり、開催します。当センターでは、地域農業の振興・活性化とJAの改革に貢献することを目的として、各種の研究会（研修会）を毎年開催しており、全国各地から多数の方々にご参集いただいております。

今年度の標記研究会は、組合員・地域に寄り添い、JAの持続可能な経営基盤の確立を実現するための信用事業戦略のあり方について学びあい、検討することをねらいに開催します。

また、本研究会では、参加者間の交流を深めるために、今年度から対面方式による開催とし、併せて、参加者相互や講師との交流の場である懇談会も開催を予定しています。

つきましては、貴団体・機関の関係者のご参加におきまして、格別のご配慮を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。特にJAにおける金融担当役職員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

なお、ご希望があれば本要領とは別にメールでもご案内いたしますので、申し添えます。

敬 具

令和6年度（通算第43回）

# J A 金融問題研究会 開催要領

主催：一般社団法人農業開発研修センター

## 《趣 旨》

いま、日本経済は歴史的な転換点を迎え、長く続いたデフレから賃金や物価の上昇でインフレ基調に変化しています。金融の分野でもこれまでの「異次元の金融緩和」から「金利のある世界」へと進みつつあります。さらに、ウクライナやガザでの戦争の長期化やトランプ大統領の再選など世界情勢を巡る不透明さも拡大しています。

こうした変化は、JAの信用事業にも大きな影響を与えることとなります。来年度からは次期「JAバンク中期戦略」がはじまり、これからのJAの信用事業の方向性に関心が高まっています。また、第30回JA全国大会が提起した「協同活動と総合事業の好循環」のテーマにあるように、組合員とのつながり強化が事業展開にも重要な課題となっています。

そこで、本研究会では、組合員・地域に寄り添い、JAの持続可能な経営基盤の確立を実現するための信用事業戦略のあり方について学びあい、検討することをねらいに、開催します。

**期 間：**令和7年1月16日（木）～17日（金）

**会 場：**京都JAビル 201・202会議室（アクセス参照）

**対 象：**①単位JAの信用事業担当役員 等  
②都道府県農協中央会・信連・連合会、農林中央金庫等の役員 等  
③その他、関連する農業団体・行政機関などの役員 等

**定 員：**50名程度

**昼 食：**

17日(金)に弁当（1,188円（税込））を準備します。ご希望の方は、参加申込書からお申し込みください。

**参加費：**（税込・一人当たり）

会 員 <>内は、2名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	40,700円<36,300円>
非 会 員 <>内は、2名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	51,700円<46,200円>
会友（個人会員）に新規加入の場合 （令和6・7年度の会友会費7,500円を含む）	43,200円

注1：会員は、会員所属者および令和5年度以前からの会友（個人会員）の金額です。

注2：令和5年度以前からの会友（個人会員）の部分受講は、別途割引があります。

※年間予約コースについては別紙をご参照ください。詳しくはメールまたは電話でお問い合わせください。

## 懇談会：

参加者と講師の交流の場とした懇談会を予定しています。ご希望を申込書へご記入ください。

＜開催予定日時＞

と き：1月16日（木） 17：30～（90分程度）

懇談会費：6,500円（消費税込）

## 申込方法：

- ①5ページの参加申込書をファックスで送信してください。
- ②受付完了通知をメールで送信しますので、参加費（昼食代・懇談会費）を送金してください。  
なお、振込手数料はご負担ください。

＜振込先＞

京都府信用農業協同組合連合会（京都信連）

本 店 当座 口座番号：6373291

京都銀行 京都駅前支店 普通 口座番号：3164073

口座名義：一般社団法人農業開発研修センター  
（シャ） ノウギョウカイハツケンシユウセンター

申込締切日：1月9日（木） 17：00

当開催要領は、ホームページ（<https://agridtc.or.jp/nittei.html>）に掲載しています。

## キャンセルポリシー：

お申し込み後のキャンセルはキャンセル料が発生しますのでご注意ください。

- ・1月9日（木） 17：00まで …… 10,000円
- ・1月9日（木） 17：00以降 …… 全額

## 問い合わせ（申し込み）先：

一般社団法人農業開発研修センター 研究会受付係

〒601-8585 京都市南区東九条西山王町1（京都JAビル）

TEL：075-748-0703

FAX：075-748-0855

E-mail：seminar@agridtc.or.jp

URL：https://agridtc.or.jp

アクセス：JR京都駅（八条口）より徒歩5分



（QRコードもご参照ください）



日 程 :

《第1日目》 1月16日(木)

13:30~13:40 開会あいさつ 一般社団法人農業開発研修センター 会長理事 増田 佳昭

13:40~13:50 オリエンテーション 神戸大学名誉教授 高田 理 氏

13:50~15:00 報告Ⅰ 地域経済の再生・振興における地域金融機関の役割

(うち質疑応答約10分)

共同通信社 編集委員 橋本 卓典 氏

- 経済部記者として流通、証券、大手銀行、金融庁を担当。2020年4月から編集委員。最新刊『地銀と中小企業の運命』(文春新書)の他、『捨てられる銀行』(講談社現代新書)シリーズ全4巻を刊行
- 地銀再編と地方銀行・信金信組のゆくえ  
ー地域密着型金融機関が生き残るためにはー
- 地域金融機関が生き残るための経営戦略のあり方を考える

15:00~15:20 休 憩

15:20~16:30 報告Ⅱ 次期「JAバンク中期戦略」のねらいとポイント

(うち質疑応答約10分)

農林中央金庫 JAバンク統括部長 佐藤 重史 氏

- 「JAバンク中期戦略」(2022~2024年度)の総括と次期「JAバンク中期戦略」(2025~2027年度)のポイント
- 第30回JA全国大会決議が提起したテーマ「組合員・地域とともに食と農を支える協同の力~協同活動と総合事業の好循環~」の実践に当金庫の果たす役割

17:30~19:00 懇談会

《第2日目》 1月17日(金)

9:30~14:20 シンポジウム「徹底討論 これからの信用事業戦略を考える  
ー組合員・地域とのつながり強化を見据えてー」

9:30~ 9:50 座長解題

神戸大学名誉教授 高田 理 氏

<座長解題>

- シンポジウムで議論したい論点と参加者に期待したいこと
- 信用事業を中心とした自己改革の実践
- 2つの実践報告の関連と意味付け

9:50～10:50 **実践報告① わがJAが取り組む信用事業戦略の実践**  
—地域活性化の展開を中心に—

長野県 信州うえだ農業協同組合 専務理事 丸山 勝也 氏

- 平成6年に誕生した2市（一部除く）1町1村を区域とするJA。組合員総数28,215名（うち、正組合員14,263名）、貯金3,403億円、貸出金571億円、長期共済保有高6,786億円、販売品販売高79億円、購買品供給高43億円（令和5年度実績）
- JA管内の他業態の店舗再編が進む中、支店・事業所の機能・業務再編に伴う経営資源（人財）の再配分による事業の展開
- 事業継承担い手農家や中規模担い手・法人等、多種多様な担い手への経営支援「担い手支援プログラム」や地域社会の持続可能な発展に貢献する「ふるさと共創事業」など連合会との連携による各種取り組みの実践

10:50～11:00 休 憩

11:00～12:00 **実践報告② わがJAが取り組む信用事業戦略の実践**  
—相談機能強化を中心に—

福岡県 福岡市農業協同組合 代表理事専務 宗 欣孝 氏

- 昭和37年に誕生した福岡市（一部除く）を管内とするJA。組合員総数42,644名（うち、正組合員6,928名）、貯金4,728億円、貸出金2,366億円、長期共済保有高8,418億円、販売品販売高42億円、購買品供給高23億円（令和5年度実績）
- 支店業績評価制度による渉外の歩合を廃止。総合相談係という位置づけとした複合渉外の新たな役割。融資相談マネージャーの配置・定着化
- オンライン相談や組合員・事業利用者のニーズに対応した各種コンサル資料の提供の実践。担当職員を対象とした各種研修会を開催し、相談機能を強化

12:00～13:00 昼 食

13:00～14:20 **討 論**

(座 長) 前 掲 高田 理 氏  
(コメンテーター) 京都府信用農業協同組合連合会 常務理事 山下 義昭 氏  
新潟大学名誉教授 青柳 斉 氏

14:20～14:40 休 憩

14:40～15:50 **報告Ⅲ 迫られる農協ビジネスモデルの改革**  
(うち質疑応答約10分)

横浜国立大学名誉教授・大妻女子大学名誉教授

田代 洋一 氏

- 専門は農業政策。『農協改革と平成合併』、『農協改革・ポストTPP・地域』（筑波書房）等、著書多数。
- これまでの信用事業依存型ビジネスモデルで問われる総合農協の改革課題
- 早期警戒制度および監督指針改定から問われる総合農協のビジネスモデルのあり方

15:50～16:00 **閉会あいさつ** 一般社団法人農業開発研修センター 常務理事 瀬津 孝

注) 講師の都合等により、報告時間等に若干の変更がある場合があります。予めご了承ください。

農業開発研修センター 行き  
〈FAX : 075-748-0855〉

令和6年度（通算第43回）JA金融問題研究会参加申込書

〒 TEL FAX

ご住所：

貴機関名：

ご記入者（部課名） <sup>ふりがな</sup>（お名前）

部課・役職名	参加者氏名 <sup>ふりがな</sup>	会友同時加入 (希望者は○)	昼食(弁当) (希望者は○)	懇談会 (希望者は○)
〈記入例〉 金融課長	けんしゅう たろう 研修太郎	○	○	○

※受付完了通知と請求書をメールで送りますのでメールアドレスは必ずご記入いただきますようお願いいたします。

@

〈送金状況〉

- 振込（予定）先 …… イ．京都信連 ロ．京都銀行（該当する記号に○印をつけてください）
- 振込（予定）日 …… 月 日

注1) 必要事項をご記入のうえ、ファックスで送信してください。  
《申し込み順に受け付けます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかった方には連絡します。》  
2) ご記入いただいた情報は、研究会の受付事務、参加者に配布する名簿作成、以後の研究会の案内のために使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

# 農業開発研修センター研究会年間予約 新コースのご案内

(一社)農業開発研修センターが令和6年度より実施した研究会年間予約コースに、令和7年度より新たに2つのコースを設定しました。各コースの特徴は、年間7回すべてのコースと、信用事業・共済事業を取り上げた金融・共済事業に特化したコース、そして営農事業に特化したコースとなっています。各部門の常勤役員、部課長が、連合会の事業研修にとどまらない幅広い視点から各事業を学ぶ機会として有益なものと考えていますので、是非ともご活用ください

## I 年間7回のフルコース（2名コース38万円、1名コース25万円）

当センターの年間7回の研究会に1名、ないし2名参加のコースです。JAにかかわる諸問題を幅広く学ぶことができます。出席者の交替も自由なので、とりまとめ部署で、関係役職員の受講を計画的に実施することができます。

- 農協問題総合研究会（7月開催）
- 地域農業振興に関する研究会（8月開催）
- 農産物流通研究会（9月開催）
- JA共済総合研究会（10月開催）
- 特別研究会（11月開催）
- JA金融問題研究会（1月開催）
- JAの営農事業改革に関する研究会（2月開催）

## II 金融・共済コース（1名コース15.4万円）

JAの当面する課題について包括的に学ぶ農協問題総合研究会と、金融、共済の各研究会、それに特別研究会を加えた4回のコースです。金融担当常勤役員、金融関係部課長、幹部候補職員などの受講を想定しています。

- 農協問題総合研究会（7月開催）
- JA共済総合研究会（10月開催）
- 特別研究会（11月開催）
- JA金融問題研究会（1月開催）

## III 営農経済コース（1名コース14.3万円）

JAの当面する課題について包括的に学ぶ農協問題総合研究会と、地域農業振興、農産物流通、営農事業改革の4回のコースです。営農経済担当常勤役員、営農関係部課長、幹部候補職員などの受講を想定しています。

- 農協問題総合研究会（7月開催）
- 地域農業振興に関する研究会（8月開催）
- 農産物流通研究会（9月開催）
- JAの営農事業改革に関する研究会（2月開催）

令和7年度の研究会開催スケジュールは、令和7年1月以降に決定します。  
詳細は裏面に掲載しております連絡先までお問い合わせください。

『参考』

## 令和6年度農業開発研修センター研究会開催予定一覧

7月

### 農協問題総合研究会(通算第53回)

【時期・期間】7/17(水)~19(金) 3日間 【開催地】京都(対面開催)  
【推奨する参加者】トップ層(組合長・理事長、専務など)、企画担当幹部職員(JA、連合会、中央会)  
【通常参加費】会員・会友:59,400円 非会員:89,100円

J A関係者の意識改革と資質の向上を狙いとするとともに、今後のJ A運動の展開方向と展開条件を総合的に解明するため、先進J Aや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

8月

### 地域農業振興に関する研究会(通算第48回)

【時期・期間】8/8(木)~9(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)  
【推奨する参加者】トップ層(営農担当役員など)、営農経済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)  
【通常参加費】会員・会友:29,700円 非会員:44,000円

地域農業振興計画立案・推進関係者の資質の向上を狙いとするとともに、地域農業振興・活性化の課題と対応方向を解明するため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

9月

### 農産物流通研究会(通算第55回)

【時期・期間】9/12(木)~13(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)  
【推奨する参加者】トップ層(営農担当役員など)、営農経済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)  
【参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

農産物流通に関わる関係者の資質向上と課題解決力の強化に資するため、先進産地や流通業界の専門家等からの多彩な報告とシンポジウムを実施する。

10月

### J A 共済総合研究会(通算第31回)

【時期・期間】10/23(水)~25(金) 3日間 【開催地】京都(対面開催)  
【推奨する参加者】トップ層(共済担当役員など)、共済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)  
【通常参加費】会員・会友:59,400円 非会員:89,100円

J A運動とJ A経営の双方の視点からJ A共済の今日的課題を解明するとともに、今後の事業戦略確立の方向性を探るため、先進J Aや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

11月

### J Aの組織基盤強化に関する特別研究会

【時期・期間】11/14(木)~15(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)  
【推奨する参加者】トップ層、幹部職員(JA、連合会、中央会)  
【通常参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

当年度の時宜に適った企画テーマを設定し、そのテーマに特化した企画内容に力点を置き、実践報告や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

1月

### J A 金融問題研究会(通算第43回)

【時期・期間】1/16(木)~17(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)  
【推奨する参加者】トップ層(信用担当役員など)、信用担当幹部職員(JA、連合会、中央会)  
【通常参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

J A金融関係者の資質の向上を狙いとするとともにJ A金融をめぐる構造的諸問題を解明するため、事例報告や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

2月

### J Aの営農事業改革に関する研究会(通算第3回)

【時期・期間】2/6(木)~7(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)  
【推奨する参加者】トップ層(営農担当役員など)、営農経済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)  
【通常参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

地域農業振興・活性化の課題(地域農業振興計画の策定・実践を含む)の解明とJ Aの営農経済事業の改革方向を探るため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

【連絡先】〒601-8585

京都市南区東九条西山王町1 京都J Aビル内

一般社団法人農業開発研修センター

TEL : 075-748-0703 FAX : 075-748-0855

Mail : info@agridtc.or.jp

URL : https://agridtc.or.jp/